

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

西武信用金庫（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付 A＋
格付の見通し 安定的

■格付事由

- (1) 東京都中野区に本店を置く資金量 1.8 兆円の大型信用金庫。東京都区部と多摩地区に一定のプレゼンスを有する。取引機会が豊富な都区部を中心に出店を継続し営業基盤を拡充しており、貸出金残高の増加率は業界トップクラスを誇る。低金利環境の長期化など厳しい事業環境のなかでコア業務純益を増加させ、高い収益性を維持していること、良好な貸出資産の質を背景に最終利益を安定的に確保していること、貸出資産や有価証券にかかる実質的なリスク量に対して自己資本の余裕度が大きいことなどを評価している。
- (2) 課題解決型の提案営業を軸に不動産の有効活用等の資金需要を取り込み、リスクに見合った適切なプライシングで中小企業向け貸出を大きく伸ばしている。18/3 期では貸出金利回りの低下幅が縮小したことなどから貸出金利息の増加額はここ数年で最大となり、コア業務純益も 144 億円と前期比 4 割増増加し過去最高を更新した。ROA（コア業務純益ベース）は 0.6%台後半と高い。貸出金につき比較的高い利回りを維持しながらボリュームを拡大している実績、足元で利回りへの下方圧力が緩和されつつあることなどを踏まえると、ROA については業界内における優位性を維持できると JCR はみている。
- (3) 金融再生法開示債権比率は 18 年 3 月末 0.9%台と低い。分類率も抑えられており、与信費用は低位で推移している。不動産賃貸業向けの貸出が全体の 4 割と大きいものの、厳格な審査基準に基づき与信判定を行っていること、小口分散が効いていること、不動産担保による保全があることなどを踏まえると貸出資産の質が大きく悪化する可能性は低い。一方、余資産運用資産が少なく、その 8 割を預け金で運用しているため、預証率（平残ベース）は 6%と低い。低金利環境下では債券投資を控えており、保有債券に係る金利リスク量は極めて小さい。株式や投資信託の保有は少なく、価格変動リスクも抑制されている。
- (4) 貸出資産の保全率が高いこと、有価証券運用のリスクテイクが小さいことなどを勘案すると、自己資本はリスクバッファーとして十分な水準にある。近年、リスクアセットが大幅に増加しておりコア資本比率は低下基調にあるが、18/3 期では出資金を増額したことなどから、貸倒引当金などを調整した連結コア資本比率は 18 年 3 月末 8%台後半と 17 年 3 月末よりも若干上昇した。今後もコア資本比率については改善を図りにくい状況が続くとみられるが、当金庫ではその改善策を継続的に検討しており、必要に応じて同比率を引き上げる施策を講じる蓋然性は高いと JCR はみている。

（担当）大山 肇・南澤 輝

■格付対象

発行体：西武信用金庫

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年6月8日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 西武信用金庫
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル